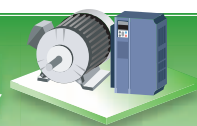


パワエレ機器



省エネ需要が拡大する産業・社会インフラなどの幅広い分野を対象に、インバータや回転機、UPS(無停電電源装置)など、パワーエレクトロニクス技術をコアとした高い電力効率を実現する製品群を展開しています。

市場伸長が見込める中国・アジアを重点に、販売チャネルを強化するとともに、グローバル生産体制を構築し、市場ごとに異なるニーズに対応できる事業体制をめざします。

(単位:億円)

	2009年度	2010年度	2011年度(予想)
売上高	608	881	1,000
営業利益	27	22	41

2010年度の業績概況

ドライブ分野では、インバータを中心とした駆動制御事業において、国内でポンプや空調市場が堅調に推移する一方、海外では中国を中心としたアジア市場の設備投資などが増加したことにより、売上高、営業損益ともに前期を上回りました。

このほか、鉄道向けでは、海外での受注活動を強化し、北米で大口案件の受注を獲得しました。また、自動車向けでは、電気自動車の普及拡大に合わせ、急速充電器を発売しました。

パワーサプライ分野では、前期にTDKラムダ(株)の電源事業を統合した効果により、売上高は前期を上回ったものの、価格競争の激化など市場環境変化の影響を受け、営業損益は前期を下回りました。

2011年度の市場環境

国内においては、設備投資の大幅な増加は見込めないものの市況は堅調に推移しています。また、省エネ・停電対策需要の高まりを受け、データセンターなどの投資は好調に推移することが見込まれます。

海外においては、中国・アジア市場を中心に依然として高い水準での経済成長が見込まれ、鉄道や電気自動車など政府主導のインフラ投資も期待されます。

2011年度の方針・戦略

主力となる駆動制御事業は、中国・アジア新興国市場を中心に、ファン・ポンプ、包装機械、クレーン分野に注力して拡販活動を行い、新機種を効果的に投入することで売上拡大、シェア向上をめざします。

自動車事業は、充電器の機種を拡充し、中速・急速充電器市場で国内トップシェアをめざします。

鉄道事業は、海外拠点(製造・販売・サービス)を拡充し、従来製品の競争力向上を図るとともに、新製品の開発により、海外での売上拡大をめざします。

電源事業は、安全・安心に向け、需要が高まっているデータセンターへの販売を強化するなど国内での売上を確保する一方で、海外生産を拡大し、成長が見込める中国・アジアへ本格展開していきます。